


研修名	<p align="center">北九州市自殺未遂者支援者研修（消防局職員編） ～自殺の危険からみた自殺予防の基礎と救急対応における精神症状の理解～</p>
講師	<p align="center">福岡大学医学部 精神医学教室 衛藤 暢明 医師</p>
開催日時	<p>令和4年10月4日（火） 10:00～12:00</p>
開催方法	<p>北九州市消防局訓練研修センター 本館2階 第1研修室</p>
参加者数	<p>18名 （北九州市消防局新規採用職員）</p>
<p>研修の 内容等</p>	<p>【研修内容】</p> <p>自殺未遂者と接する可能性のある、消防局職員で新規採用者向けの研修を行いました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で、対面で実施することとなりました。</p> <p>自殺に追い込まれる人の心理状況、SAD PERSONS SCALE の紹介、医療機関への繋ぎ方、自殺未遂者への対応方法など、すぐに実務に活かせる内容について講義がありました。今後も、多職種を対象に研修を行い北九州市全体の自殺対策強化を目指します。</p> <p>【講義中の風景】</p> 
<p>アンケート 結果から</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・背景にあるいくつかの要因を理解し、対応することが重要だと思った。 ・暴れる人を落ち着かせて運ぶ方法を演習し、小さな力で楽にできて活用できると感じた。 ・自身が精神病に罹らないように、ひとりで抱えずしっかり相談していこうと思う。 ・死にたい人を助けた後に、色々悩む消防士の治療やその後について学んだ。 ・今日得た知識を自分からも周りに発信できるようにしたい。 ・人間は集団生活の中で生きているので、隣で支えてくれる存在は改めて大事だと感じた。 ・自殺対策について学んだが、まず、自分自身のことを振り返ってみたいと思った。 ・受験期に希死念慮があった友人にどう接するべきか悩んできたため、大変勉強になった。 ・突然の自殺で知人を亡くした経験があり不思議だったが、その裏には何かと悩みがあったのだと思った。